令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 南陽恵和会

目 次

1	令和3度事業総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	法人事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3	理事会・監事会・評議員会開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
4	会議・委員会開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
5	職員状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
6	職員研修等状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
7	苦情受付と対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
8	特別養護老人ホームこぶし荘・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	(1) 介護課	
	(2) 医務課	
	(3) 給食課	
	(4) 総務課・事務人事課	
	(5) 業務課	
9	こぶし荘ショートステイ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
10	こぶし荘デイサービスセンター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
11	こぶし荘在宅介護支援センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
12	こぶし荘認知症高齢者グループホームこぶしの家・・・・・・・・	29
13	養護老人ホーム南陽やすらぎ荘・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33

1. 令和3年度事業総括

令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウィルス感染対策を講じながらの事業運営となりました。主な事業内容は以下のとおりです。

はじめに新型コロナウィルス感染対策についてですが、令和3年度は、感染拡大第4波とともに始まり、感染まん延は2年以上に及び、面会や外出の制限、地域の方々とのイベントの中止などにより、入所者のADLや生活の質の低下が心配されました。

また、こぶし荘では、感染リスク軽減と有事に対応するため、西棟と南棟の居室の一部を個室化する改修工事を行い、体調不良者への対応体制を整備するとともに、状況の変化により、マニュアルの見直しや感染防止対策の検討とシミュレーションを行い職員への周知を図りました。

3年度は、新型コロナウイルスワクチン接種が始まり、嘱託医であり産業医である川合先生および原田先生と関係医療機関のご協力により、入所者、職員ともに1回目・2回目・3回目と滞りなく進めることができました。接種後の副反応としては、一部の入所者に、発熱や食欲不振等がみられたものの特に問題なく経過しました。職員の中には、副反応が強く1日~3日間勤務できない職員もおり、各部署勤務調整に苦慮したところもありました。

型を変え感染拡大を続ける新型コロナウイルス第6波では、高齢者施設のクラスターが全国で多発し、医療逼迫や保健所の機能不全等により、重症化しやすい高齢者であっても入院治療が困難となる状況がありました。南陽市および周辺地域においても、福祉施設事業所、学校、保育園などから頻回に感染情報が聞かれるようになり予断を許さない状況が続いています。この感染情報に関連する職員家族の報告も相次ぎ、自宅待機となる職員の勤務交代や超過勤務など、現場が逼迫する状況もありました。さらに、当法人施設・事業所の利用者家族や職員家族から感染者が出たため、感染症発生緊急対策会議を開催し、ゾーニングや感染症対策物品の準備等マニュアルに沿った対応を行うとともに、保健所・各関係機関の指導・協力や部署間での職員派遣協力のもと拡大することなく終息に至ったことは幸いでした。

次に介護保険関係ですが、4月から介護保険制度・介護報酬改定、第8期介護保険事業が始まり、介護報酬改定の改定率はプラス0.7%と、度重なる報酬減、新型コロナ禍の影響等厳しい状況の中ではありましたが、介護保険法に則った事業運営体制の構築と、より充実した介護支援体制を図るため、これまでの日課検討委員会を「サービス検討委員会」と改め、科学的介護「LIFE」の新たな加算取得に目標を設定し取り組みました。

さらには、入所者の重度化とリスクマネジメント、介護人材不足など介護を取り巻く厳しい現状の中、こぶし荘においては、多職種の連携、各棟間の業務連携を図るべく検討を重ねました。また、2名の機能訓練指導員の採用により、個別機能訓練を再開し集団リハビリの充実に取り組みました。

次に、入所者処遇についてですが、3年度も利用者の処遇及び職員の接遇の観点から 日常業務をふり返り、よりよいケアの構築のため利用者家族にアンケートを実施しまし た。結果をまとめ、利用者家族に届けるとともに、サービス検討委員会の中で改善点に 対しては、改善策を実施に向け進めています。

このような中で、令和4年3月に、すでに退所された方の家族から「苦情」を受け付

けました(経過は事業報告書の中に記載)。県地域保健福祉課の担当者を通し「検証結果報告書」を提出中です。今回の「苦情」については、家族に連絡・報告・相談が適切に行われていたか、適切に行うための日々の記録や職員間での報告・連携・共有ができていたかを再確認し、今後の利用者家族への支援の在り方を構築する機会ととらえ、資質の向上に努めていきます。

次に、人材育成・定着については、入職時オリエンテーションの充実を図るとともに、職員全員が自ら成長し新人職員を育てる目的で、人材確保プロジェクトチームを継続し、プリセプター制度による新人職員教育・育成体制に取り組みました。プリセプター制度を採用して3年目となり、新たな課題も含め、引き続き、限られた人員体制の中での指導の工夫や指導内容・指導計画の更なる検討、指導側(チューター)の研修の実施等、今後も教育・育成体制に努めていきます。

また、南陽やすらぎ荘の置賜広域行政事務組合派遣職員の令和4年3月派遣終了を見据え、後任職員の確保と事前研修を進めました。

次に、人材確保については、ハローワークや職員からの紹介があるものの厳しい状況が継続し、人材派遣・紹介会社にも頼らざるをえない状況も出ています。そうした中、令和4年2月に開催された南陽市就職面接会に参加し、次年度に向け2名の介護職員を確保する機会となりました。特に看護師の確保が困難になっており、看護師の定年退職に伴い募集をしていますが、採用に至っていません。

次に、処遇改善とキャリアアップ制度の充実については、これまでの「介護職員処遇 改善加算」に加え、令和元年度創設された「介護職員等特定処遇改善加算」を継続取得 し、加算を活用した介護職員等の処遇充実と全職員対象のキャリアアップ制度の充実推 進に努めました。

また、介護福祉士等の職能資格等の取得を推進し、助成金を活用した取得支援に取り組み、今年度、介護職員1名が介護福祉士試験に、もう1名が介護支援専門員試験に合格することができました。

次に、南陽やすらぎ荘については、2年目となる指定管理運営、さらには令和4年4月オープンの新施設運営を見据え、設置者並びに行政と連携を図りながら検討を行い、令和4年3月には、竣工式、内覧会、引っ越し作業と順調に進めることができました。令和4年度からは、4ユニット体制の新施設で支援体制の構築に向け、新たな課題に取り組んでいきます。

最後に、コロナ禍の終息が見通せない状況の中で、今後、さらに、発生時を想定した 法人事業所内の業務協力体制を強化するため、より具体的なシミュレーションや研修会 を各部署間で重ねていくよう、施設運営会議はじめ、関連する委員会等と連携協働し、 危機管理に努めてまいりますが、国からの通達ではBCP策定など、「感染症、災害への 対応力」や「十分な感染対策を行いつつ事業の継続」が求められている中、職員配置や 費用面など、各施設・事業所だけの努力や課題とするには困難であると、これまでの経 験を通し感じています。

今後も続くと思われるコロナ禍、新しい生活様式の中で家族や地域とのつながりをいかに持ち、利用者・入所者の生活に潤いや楽しみが持てるような日常を構築していくか継続して問われています。日々「命を守る」使命を担う職員の心身の負担も増大しており、職員の処遇改善にも引き続き努め、より良いケアの実践に取り組んでまいります。

2. 法人事業概要

(1)法 人 名 社会福祉法人 南陽恵和会

(2)所 在 地 山形県南陽市川樋508番地

(3) 設 **立 年 月 日** 昭和 6 3 年 5 月 1 7 日

(4) 法 人 事 業

第一種社会福祉事業

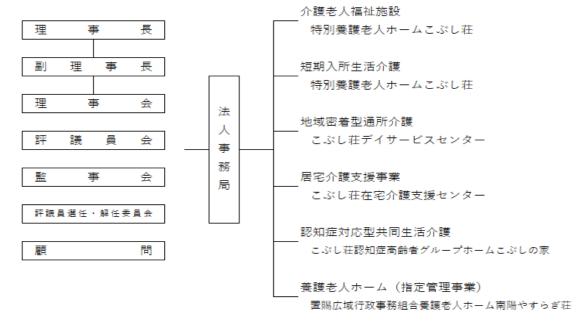
事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
介護老人福祉施設	特別養護老人ホームこぶし荘	116名	平成元年4月1日 ※R3.5.1 定員110名から116 名に変更
(居宅介護支援事業)	(こぶし荘在宅介護支援センター)		(平成5年4月1日)
養護老人ホーム	置賜広域行政事務組合 養護老人ホーム南陽やすらぎ荘	70名	令和2年4月1日指定 管理開始

第二種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
短期入所生活介護	こぶし荘ショートステイ	2名	平成元年4月1日 ※R3.5.1 定員8名から2名 に変更
通所介護	こぶし荘デイサービスセンター	18名	平成 5年4月1日
認知症対応型 共同生活介護	こぶし荘認知症高齢者 グループホームこぶしの家	9名	平成 14 年 3 月 1 日

(5)組 織 図

社会福祉法人南陽恵和会



3. 理事会·監事会·評議員会開催状況

(1)役員理事8名(定数 8名)監事2名(定数 2名)

顧 問 1名 (定数 1名)

(2) 評議員 評議員選任委員 10名 (定数10名) 3名 (定数 3名)

(3) 理事会開催状況

開催日	決議事項		出席者/定数			
州准口		理事	監事	顧問		
令和3年6月13日 (書面)	令和3年度 第1回定例理事会 (※) ・事業報告案、決算報告書案並びに監査報告、 任期満了に伴う役員及び顧問の選任 他	8/8	2/2	1		
令和3年6月27日 (書面)	令和3年度 第2回臨時理事会 (※) ・理事長等の互選	8/8	2/2	1		
令和3年7月28日 (書面)	令和3年度 第3回臨時理事会 (※) ・多床室の個室化改修工事等の見積合わせ	8/8	2/2	1		
令和3年9月9日 (書面)	令和3年度 第4回定例理事会(※) ・第1次収支補正予算案 他	8/8	2/2	1		
令和3年12月22日 (書面)	令和3年度 第5回定例理事会(※) ・第2次収支補正予算案 ・就業規則一部変更 ・南陽やすらぎ荘の指定管理協定 他	8/8	2/2	1		
令和4年3月18日 (書面)	令和3年度 第6回定例理事会(※) ・第3次収支補正予算案 ・令和2年度事業計画案、当初予算案 他	8/8	2/2	1		

[※] 新型コロナウイルス感染防止のためすべて書面による開催並びに決議とした

(4) 監事会開催状況

開催日	決 議 事 項	出席者/定数
	以 城 宇 京	監事
令和3年6月4日	令和3年度 第1回定例監事会(業務執行監査) ・監査の所見は「決算報告書」に添付	2/2

(5) 評議員会開催状況

開催日	決議事項	出席者/定数		
	(八) 成 事 久	評議員	役員	
令和3年6月24日 (書面)	令和3年度定時評議員会 ・決算報告書案並びに監査報告 ・任期満了に伴う役員の選任 ※新型コロナウイルス感染防止のため書面による開催並びに決議とした	10/10	11/11	

4. 会議・委員会開催状況

(1) 施設運営会議

開催時期	開催回数	内	容
4月~3月	12回	事業計画の進捗確認と検証、	目標達成のための協議検討

(2) リスク対策委員会

委員会名	開催回数	内 容
入所選定委員会	10回	次期入所者の決定、調整
身体拘束廃止委員会	6 旦	身体拘束廃止への取り組み
事故発生防止委員会	6 旦	リスク対策と軽減
看取り介護委員会	4 回	看取り介護サービスの充実
感染症・食中毒予防まん延防止対策委員会	6 回	感染症・食中毒予防まん延防止対策
グループホーム重度化対応委員会	6 回	GHにおける重度化対応と医療連携
褥瘡発生防止委員会	6 旦	褥瘡発生防止対策
安全衛生委員会	12回	労働災害防止、労働衛生管理
給食委員会	12回	利用者給食提供の充実
広報委員会	5 回	広報誌発行、ホームページ更新等
防災対策委員会	4 回	施設防災対策、防災訓練実施
研修・地域連携委員会	4 回	施設内研修、地域貢献活動の企画
リハビリ委員会	3 回	個別リハ、集団リハの充実
ショートステイ委員会	1 回	短期入所定員変更、コロナ禍対応
看護介護協働委員会	休 会	喀痰吸引制度の普及啓蒙

(3)特別委員会

会議名	開催回数	内 容
日課検討委員会	2 回	科学的介護推進体制の確立等
秋祭り実行委員会	2 回	こぶし荘秋祭りの企画実施
コスト軽減対策チーム	3回	コスト軽減案を作成し、効果を検証
人材確保プロジェクトチーム	2 回	人材育成の検討・福祉就職フェアへの参加

(4)職員会議

会議名	参加者	内 容
令和3年5月中	107名	令和3年度事業計画について 他 ※新型コロナ感染予防対策として事業所・部署毎の分 散開催とした

5. 職員状況

(1) 職種別

令和4年3月31日現在

職名		事 業	所 5	<u> </u>		R3 年度 採用者	R3 年度 退職者
4HX 7L1	こぶし荘 デイサー ビス	グループ ホーム	支援 C	計	やすらぎ荘		数
施 設 長		1		1	1	1	0
事 務 職		3		3	2	2	1
管 理 者	[1] [1]	[1]	[1]	0	0	0	0
生活相談員	2 1 • [1]	_	_	3	3	0	1
介護支援専門員	[4]	[2]	2 [1]	2	[1]	0	0
介 護 職 員	55 (24) 4 (1)	7 (2)	-	66	14 (12)	9 (5)	9 (7)
看 護 職 員	5 (2)	·	-	5	1 (1)	3 (1)	3 (2)
機能訓練指導員	2 -	_	-	2	-	2	0
管理栄養士	2	-	-	2	-	0	0
栄 養 士	-	_	-	0	1 (1)	0	0
調理員	10 (6)	-	-	10	委託	0	0
業 務 員	2	(1)		2	1 (1)	0	0
洗濯員	7 (7) -	_	-	7	委託	0	0
清 掃 員	2 (2) -	_	-	2	委託	0	1 (1)
夜 警 員	4	(4)		4	委託	1 (1)	1 (1)
医 師(嘱託)	2 (2) -	_	_	2	1 (1)	0	0
実人員合計	97 (48) 5 (1)	7 (2)	2	111 (51)	24 (16)	_	_

- ※ () 内は嘱託・準職員・パート職員、派遣職員 【 】 内は同一事業所内での兼務
- ※ 採用・退職者数に人事異動を含む
- ※ 実人員合計の内、他事業所を兼務する職員は本体施設でカウント
- ※ 本表は介護保険法に基づく配置基準を確認するための様式とは異なります

(2)年齡別

(平均/49.8歳)

区分	~19 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60 歳~
男 性	0	8	3	5	14	12
女 性	0	8	13	23	27	22
計	0	16	16	28	41	34

(3)在職別

(平均/10.3年)

区分	0~5年	6~10年	11~15年	16~20年	21~25年	26~30年	31 年~
男性	26	3	1	1	3	3	6
女 性	53	5	4	8	2	11	9
計	79	8	5	9	5	14	15

6. 職員研修等状況

(1) 職場内研修

開催日	研 修 內 容	参加者数
	新型コロナウイルス感染症予防により開催中止	

[]は主催委員会

(2) 外部研修

開催日	研 修 内 容	出席者
令和3年 6月	特養部会 機能訓練指導員研修	機能訓練指導員
11.17.2 1 274		2名
令和3年 7月	介護福祉士会 介護福祉士基本研修	介護職 1名
令和3年 8月	県社協 調理担当者研修	調理員 1名
令和3年 9月	介護福祉士会 ファーストステップ研修	介護職 1名
令和3年10月	介護施設における安全対策担当者養成研修	生活相談員 1名
令和3年11月	救急救命講習	介護職 3名
令和3年11月	認知症介護オンラインセミナー	介護職 1名
令和3年12月	県看護協会セミナー	看護職 1名
令和3年12月	特養部会 生活相談員研究会	生活相談員 1名
令和3年12月	 特養部会 機能訓練指導員研修	機能訓練指導員
1440 7 1 271	10.这种名 1次配则外担予只则形	2名
令和4年 1月	県介護認定審査会委員現任研修	多職種 3名

(3) 社会・地域貢献活動

期日	項目	参加数 派遣数	活動内容
R3. 5.16	中川地区花いっぱい運動(植	3名	衛生組合様と共同作業
	栽)		※新型コロナ対策により少人数参加
R3. 5. 1	清掃活動ボランティア	17名	地区内のゴミ拾い、掃き掃除
R2.6~10 月	中川地区花いっぱい運動	全職員	除草等の花壇管理
R3. 11. 24	椚塚第一区健康講座	4名	高齢者の冬の健康管理
R4. 1.21	宮内黄金サロン出前講座	1名	介護について考える
_	いわぶの里夏祭り		開催中止
_	中川地区文化祭準備手伝い		開催中止

(4) 研修講師派遣・派遣協力

期日	研修名	団体等	派遣職員
R3. 5.31	主任介護支援専門員更新研修	山形県	佐々木利典
R3. 6. 7他	認知症介護実践者研修	山形県	IJ.
R3. 6. 8他	介護労働講習	介護労働安定センター	IJ.
		山形支所	
R3. 7.10	認知症サポーター養成講座	南陽市社会福祉協議会	IJ.
		赤湯小ぴよっこ対象	
		(ボランティアサークル)	
R3. 7.20 他	認知症対応型サービス事業開設者研修	山形県	IJ.
R3. 7.27	介護福祉士基本研修	山形県介護福祉士会	IJ.
R3. 7.28 他	認知症介護実践リーダー研修	山形県	IJ.
R3. 8. 2	施設実習指導者講習	山形県介護福祉士会	"
R3. 8.24	認知症対応型サービス事業管理者研修	山形県	"
R3. 9.18 他	ファーストステップ研修	山形県介護福祉士会	"
R3. 11. 12	技能実習指導員講習	山形県介護福祉士会	"
R3. 11. 18 他	授業講義	山形市立済生館看護学院	"

7. 苦情受付と対応

受付日:令和4年3月14日

申し出者:元入所者様のご家族(置賜総合支庁地域福祉課を通し質問・要望を申し出る)

内 容:①要介護認定更新調査について家族への同意を得なかった ②入所利用者の健康状況に係る家族への報告が、4 か月なされなかった ③再入所手続きについて、ご家族に適切な説明がなされなかった ①から③についての調査と説明を希望。

対応と経過:速やかに第三者委員に報告するとともに、施設内に調査委員会を設置し検証にあたった。調査の結果、①については、入所時に確認をしているが、認定調査の連絡が届いたときに再度お知らせと意向確認をするべき配慮が欠けていたことをお詫びし、今後の対策を示した。②については、ご家族が定期的に来荘いただいている中で、身体状態の経過の報告や相談が適切になされていなかった(職員間の連携が不十分であった)ことをお詫びし、今後の対策を示した。③については、ご家族様が、入所申請書がなくとも優先的に再入所できると受け止めていたことについて、退所手続きの際に口頭説明ではなく、書面での丁寧な説明をするべきであったことをお詫びし、今後の対策を示した。

以上、地域福祉課担当者を通し、現在もご家族と結果報告文書のやり取りを 通じて解決を図っている。

8. 特別養護老人ホームこぶし荘

~ 介護課 ~

(1) サービス全般について

今年度はコロナ禍の中で感染症対策が介護の中でも大きなポイントを占め、施設内の各行事等を縮小し、三密を避ける為他者との交流も少なく入居者様にとって、身体的にも精神的にも大変な一年だった。その中で、東西南棟の三棟ケアの充実を図る為、それぞれのチームケアを重視し入居者様に寄り添うケアに取り組んだ。

ご家族との交流する機会も制限され、写真入りの手紙を作成し入居者様の生活状況を届ける回数を増やしたり、ライン面会・窓越し面会等の新しい取り組みを行った。

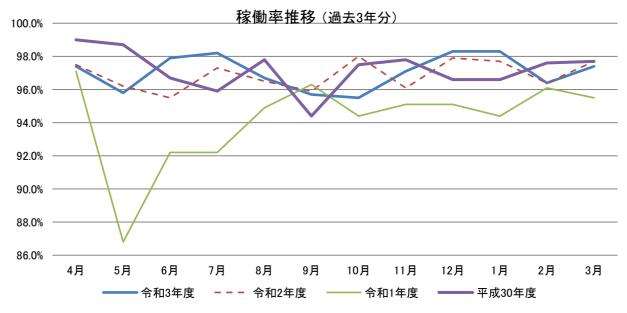
まだまだコロナの終息が見えない状況の中、入居者様の安心安全な生活を支える為、多職種連携を図り充実した介護に今後も取り組んでいく。

(2) 利用状況(令和4年3月31日現在)

① 要介護度・月別

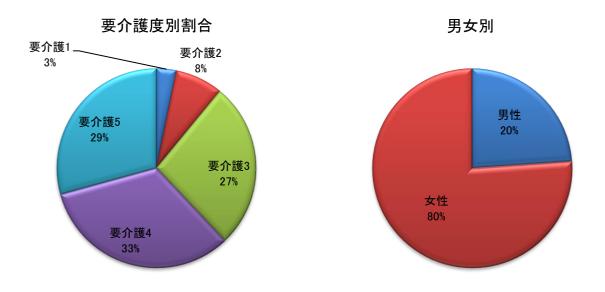
月 介護度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護 1	90	93	90	93	93	120	124	120	123	124	112	124	1, 306
要介護 2	300	310	300	310	279	240	248	240	248	273	196	235	3, 179
要介護3	789	863	889	911	960	874	900	935	992	966	921	1,044	11, 044
要介護 4	1, 164	1, 164	1, 129	1, 168	1, 119	1, 115	1, 135	996	1,077	1, 160	1,041	1, 149	13, 417
要介護 5	870	1,014	999	1,050	1,027	983	1,028	1, 089	1,095	1, 013	861	952	11, 981
合 計	3, 213	3, 444	3, 407	3, 532	3, 478	3, 332	3, 435	3, 380	3, 535	3, 536	3, 131	3, 504	40, 927
利用率	97.4	95.8	97. 9	98. 2	96. 7	95. 7	95. 5	97. 1	98. 3	98. 3	96. 4	97. 4	97. 1

平均介護度 3.73 (昨年度 3.81) ※ 平成 31 年度全国平均介護度(全老施協統計)



② 男女別 実人数

男性	女性	計
27人	86人	113人



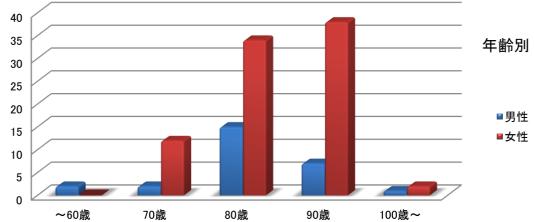
要介護 3、4 で認知症を根底に抱えた車椅子介助の方が多く、日常生活全般に見守りや援助を必要とする入居者が 6 割。ADL(日常生活動作)を含む身体機能へのケアはもとより、QOL(生活の質)や意思決定支援を大切にするパーソンセンタードケアが求められる。

③ 市町村別 実人数

南陽市	米沢市	高畠町	川西町	その他	合 計
98	1	10	3	1	113

④ 年齢別 実人数

区分	区分 ~60 歳台 70 歳台		80 歳台	90 歳台	100 歳以上	平均
男 性	2	2	15	7	1	81.1歳
女 性	0	12	34	38	2	83.5歳
計	2	14	49	45	3	82.3 歳



現在の入所者の年齢構成は、80歳以上が80%を超えるが、近年は60歳代、70歳代の方の入所や入所申込が増えてきた傾向にある。

(3)入退所の状況

実人数

区分		退所	入所者		
	死 亡	入院死亡	希望退所	計	南陽.高畠.川西.長井
男性	7	0	0	7	11
女 性	16	1	2	19	23
計	23	1	2	26	34

死亡退所の内訳	施設内	入院先病院	退所後病院死亡	計
人 数	23	1	1	25
平均年齢	92. 7	95	91	92. 7

(4) 日常生活の状況

実人数

	歩 行					食事		入浴		排泄	
区	自	歩	車	ベッ	自	→	全	自	機	直立	オム
分	自立歩行	歩行介助	いす使用	ッド生活	力摂 取	部介助	全部介助	自力浴	機械浴	・一部介助	ムツ使用者
実数	3	4	65	41	69	10	34	22	91	17	96

(5) 認知症高齢者の状況

実人数

区 分	男性	女性	計
認知症日常生活自立度Ⅲ以上	24	74	98
(全体に占める割合)	21.2%	65.4%	86.7%

(6) リハビリテーション

① リハビリ実施状況

<u> </u>							
項目	実施日	月	火	水	木	金	計
個別リハビリ	週1回	8	11	11	7	8	45
	週2回	実施日			実施日		1
集団リハビリ		南棟	西棟	東棟			

- ・入居者の体調や会議等により実施曜日は前後することあり。
- ・その他:曜日不定期3名、週5回(月~金)1名、隔週(月)1名

② リハビリの内容

リハビ	リの内容	
●歩行訓練(平行棒、歩行器、杖等)	●起き上がり訓練	●座位保持訓練
●立ち上がり訓練	●筋力訓練	●移乗訓練
●ROM-EX(関節可動域訓練)	●ポジショニング	●作業活動
●歌体操 ●脳トレーニング	●回想法 など	
	●歩行訓練(平行棒、歩行器、杖等) ●立ち上がり訓練 ●ROM-EX(関節可動域訓練)	●ROM-EX(関節可動域訓練) ●ポジショニング

~ 医 務 課 ~

(1) サービス全般について

入所者の心身の健康を維持し、日々の生活を安全で健やかに過ごせるよう、嘱託医との連携、身元引受人との情報共有により健康管理に努めた。生活面では、多職種との連携を図りながら生活レベルの低下防止に取り組んだ。

(2)医療

① 嘱託医の診療

嘱託医	診療科目	診療日
川 合 厚 子 嘱託医	内 科	第2・第4木曜日、オンコール対応
佐 藤 忠 宏 嘱託医	精神科	毎月第3木曜日
佐 藤 有 弘 歯科医	歯科	随時回診
阿 部 友 宏 歯科医	歯 科	随時回診

川合厚子嘱託医による日常的な診療のほか、個人の状態に応じた必要な処置と、専門医への通院診療が行われた。

認知症疾患に関しては、佐藤嘱託医による定期診療と、先生指導による処遇に関する施設 内研究など、専門的かつ積極的な取組みがなされた。

オンコール体制は、川合厚子嘱託医による日々の診療体制を取っている。

歯科診療については、佐藤有弘歯科医、阿部友宏歯科医の往診治療、口腔衛生指導により 多くの入居者の口腔衛生が保たれ、入所者と家族から好評を得た。

② 感染症等対策

項目	人数	実施時期
胸部エックス線検査	70 名	令和3年9月27日~10月5日
インフルエンザワクチン	108名	令和3年12月23日
肺炎球菌ワクチン	9名	令和3年3月3日

- ・弱酸性次亜塩素酸水、アルコール消毒による日常的な衛生管理や清掃を実施
- ・レジオネラ菌対策~浴槽の清掃、消毒薬の使用、水質検査などを実施
- ・ノロウイルス等対策~うがい、手洗いの徹底、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒(週1回及び随時)
- ・風邪など感染症予防のため、出退勤及び面会時うがい、マスク着用、手指の消毒を実施

(3)入院・退院

入院者	退院者	入院中 死亡者	継 続 入院者	長期入院によ る契約終了	その他
21 名	16 名	2名	0名	3名	0名

※入院者には、同一利用者の複数回入院が含まれます

入院者内訳

公立置賜南陽病院	公立置賜総合病院	佐藤病院	公立高畠病院	米沢市立病院
3名	16名	3名	4名	0名

(4)健康調査

入居者の健康管理上、健康状態の把握が重要なため毎月健康調査を行った

- ・日常的な健康チェック
- ・毎月定期的に血圧、体重測定を行って健康状態を確認
- ・年1回定期的に血液検査を実施した。また、体調不良時など随時、嘱託医の指示のも と、血液・尿等の検査を行い、健康管理に心掛けた。
- ・全入居者を対象に佐藤病院の協力を得て胸部レントゲン撮影を行った。受検者70人

(5) 職員の健康管理

項目	実施時期	受検者数	対象者
春季健康診断	4月~7月	96名	全職員(健康保険未加入者除
			<)
秋季健康診断	10月	51名	夜勤職員及びパート職員
インフルエンザワクチン	12月	99名	全職員
ストレスチェック	9月	112名	全職員

(6) 新型コロナワクチン接種状況

	/ - 1X - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
接種回数	接種日	入居者	職員
1回目	5月13日	109名	6名
	5月20日	6名	4 9名
	5月27日	2名	4 5 名
2回目	6月 3日	106名	6名
	6月10日	8名	5 1 名
	6月17日	2名	4 5 名
3回目	1月27日	105名	4 2 名
	1月31日	8名	5 8 名

春・秋の定期健康診断を実施し、その結果に基づき川合産業医の指導を得ながら職員の健康保持に努めた。要精検者に受診勧奨し職員の健康管理を行った。

コロナ禍のため、講師を迎えての健康講座はできなかったが、Web サイトの健康講話の資料を配布した。

毎月の安全衛生会議において、新型コロナウイルス感染症の情報・予防・対策等を話し合い、確認・周知をした。

また、各事業所の安全点検を実施し、安全で快適な職場づくりを目指した。

~ 給 食 課 ~

(1) サービス全般について

- [1] これまで同様に大量調理マニュアルに沿った衛生管理の徹底と食品衛生法改定に伴った、各種記録の整備を図り安心、安全な給食提供に努めた。栄養面においては食事摂取基準を参考に給食管理を行い、栄養マネジメントにて個々の栄養状態の維持、改善、悪化予防に努めた。
- [2] 食べる楽しみについて、昨年度より「麺の日」の回数を増やし、麺類を好む入居者の楽しみとなるよう提供行った。入居者より「おいしかった」の言葉多く頂戴した。麺の日の継続と献立の充実ができるよう継続して対応していく。
- [3] 低栄養の予防・改善を図り利用者の生活の質を高めるため、食事形態においては刻み食に対して、食べやすく飲み込みやすいムース食を取り入れて、より安全、安心に食べていただけるように努めた。又、最後まで食べる楽しみを支援するため、看取り介護者へは最期まで口から食べる支援を行った。
- [4] 2年目職員及び中堅職員の指導、教育については継続が必要。

① 適時適温食事

朝食	昼食	夕 食
7:50~	11:50~	17:20~

温冷配膳車導入により、適切な温度帯により、食事のおいしさ、食中毒細菌増殖温度帯の回避、異物混入防止など、安全でおいしい食事提供の実現。

② 栄養ケアマネジメント

多職種協働による栄養ケアマネジメント体制で入居者全員を対象とし栄養状態の維持、改善を図った。おひとりおひとりに合わせた栄養ケア計画を作成し、家族に説明し同意を得て実施した。また定期的にモニタリング、評価し、作成した計画について見直しを行った。計画の変更があった場合は、その都度同意を得ているが、未実施もあったためすみやかな変更と同意に努めた。看取り介護の方も常に 10 名前後居られた。また食事量の減少者などおり、随時食事内容の検討を行い対応した。

項目	単位	栄養摂取量基準値 (令和2年度)	一日平均摂取量 普通食	一日平均摂取量 粥 食
熱量	kcal	1579	1523	1309
蛋 白 質	g	52. 3	55. 9	49. 4
脂質	g	42. 3	38. 1	37.8
カルシウム	mg	661	706	645
鉄	mg	6. 2	10.5	9.8
レチノール活性当量	μд	683	410	410
ビタミン B1	mg	0.84	0.92	0.85
ビタミン B2	mg	0.95	0.94	0.89
ビタミン C	mg	100	78	78
塩 分	g	7. 2	9. 1	9. 2

※ 日本人の食事摂取基準 (2020 年版) の数値を献立作成に用いながら栄養アセスメントで算出した個々人の必要量の充足に努めた。(上記表はその平均)

③ 給食費

年間食数	一日平均単価/人
124,691 食	716 円

重度化による食形態が小刻み食・ミキサーの方が全体の7割程度占める 栄養ケアでの栄養リスク判定ではアルブミン値のデータをDr指示でとるようになったため低栄養の リスクレベルが高リスク者が増えている。

原油高騰、不作、コロナウィルスの影響による食材費の値上がりがあり、年度中の値上げがあった。 (油系、冷凍食品、冷凍野菜、小麦系など)

自然災害による野菜の高値、コロナ禍での備えなど様々な想定を行わねばならぬ中、冷凍野菜の使用や日曜日おやつの菓子を安価な商品も取り入れるなどの工夫をしたことで、何とか予算内での運営を実施できた。ただし R4 年度の食材費用の値上げは避けられないため、随時相談行いすすめていきたい。価格重視だけではなく、おいしく食べて頂けるよう献立のバリエーション、麺の日などを行うなどの工夫し楽しみをもてる給食提供を実施した。今後もニーズに応じた対応を努力していく。

(2) 行事食

- ① 毎月の誕生会~コロナ禍により例年と違った対応をとり祝福の継続を行った。誕生日当日には一人一人のご希望を伺い給食課で準備し、各棟の介護職員が入居者の祝福をした。 誕生会食では季節感や豪華さを意識し、お祝い膳にふさわしい献立を提供し入所者に喜ばれるよう努めた。
- ② 正月、ひな祭り、お彼岸、クリスマスなどに季節感あふれる行事食を提供した。 季節感を大切にした食事や伝統的な行事食などを通し、外出が思うようにできない入居者 の方に四季を感じて頂くことが重要な役割だと思い、対応した。今後はさらに内容の充実を 図っていく。

※行事食内容は、(資料1)のとおり

(3) 衛生管理について

大量調理マニュアルに添った衛生管理に努めた。厨房は清潔区域・汚染区域に分かれたことで衛生面に配慮された環境下、また毎日の清掃消毒、衛生管理の継続をおこない、安心安全な食事提供を行った。R2年に入り全国的な新型コロナウイルスの感染拡大や県内での感染も危惧される中、職員の体調管理の徹底、感染防止対策の継続に努めた。また備蓄食品等の確保にも努めた。整備をさらに進めていく必要がある。

(資料1)

令和3年度行事と行事食

月	日	行 事 内 容	行 事 食
4月	12・13 目	麺の日	(温)とろろうどん
	22 日	誕 生 会	ちらし寿司、みそ汁、茎立お浸し、天ぷら、いちご
5月	19・20 目	麺の日	(温) わかめラーメン
373	27 目	誕 生 会	筍ご飯、清汁、かつおたたき、ふき煮物、抹茶ババロア
6月	2 目	麺の日	(温) めかぶそば
ОЛ	24 目	誕 生 会	生姜ご飯、みそ汁、エビフライ、冷たい茶碗蒸し、もずく、ゼリー
	8・9 目	麺の日	伶 そうめん
7月	19 日	麺の日	伶 そうめん
	29 目	誕 生 会	うめしそごはん、みそ汁、天ぷら、甘酢和え、卵豆腐、ゼリー
	3・4 目	麺の日	(冷) 冷やし中華
8月	18 目	麺の日	(冷) ざるうどん
	26 日	誕 生 会	ゆかりご飯、みそ汁、エビフライ、炊合せ、もずく、メロン
	7・8 目	麺の日	(冷) おろしそば
9月	17 日	敬老会	赤飯、清汁、刺身、豚角煮、菊と胡瓜酢の物、梨・シャインマスカット(祝い 菓子:上生菓子)
	22 目	秋彼岸 (誕生会)	おはぎ4種、牛乳、鶏八幡巻、小松菜煮びたし、ゼリー
	6.7 目	麺の日	(温) ラーメン
10 月	20 日	麺の日	(温) かけうどん
	28 目	誕 生 会	まったけご飯、みそ汁、刺身盛合わせ、菊とほうれん草浸し、さつま芋ようかん
	4・5 目	麺の日	(温) きのこそば
11月	15 日	麺の日	(温)ラーメン
	25 日	誕 生 会	まいたけご飯、清汁、刺身盛合わせ、高野豆腐サンド煮、栗の水ようかん
	1・2 日	麺の日	(温) ラーメン
	15 日	誕生会	ゆかりごはん、みそ汁、刺身盛合わせ、豚角煮、ラフランス
12 月	22 日	冬至	冬至南瓜
	22 日	クリスマス会	ご飯、煮込みハンバーグ、大根サラダ、フルーツポンチ(練切クリスマス和菓子)
	31 日	麺の日	年越しそば
	1~3 日	おせち料理	赤飯、伊達巻卵、Vが数の子、棒だら煮、冷汁、炒り鶏、鶏の松風焼き、黒豆、昆布巻き、だいだいムース、紅白なます、きんとん、ブリ照り焼き、ぎんたら煮、とろろ
1月	11, 12 日	麺の日	(温) 味噌ラーメン
	20 日	麺の日	(温)うどん
	27 日	誕 生 会	変わりご飯、ヨーグルト、刺身盛合せ、冷汁、プリン
	3 日	節分の日	ちらし寿司、清汁、刺身盛合わせ、五目豆、きなこプリン
2月	7・8 日	麺の日	(温) 煮込みうどん
2 /1	15 日	麺の日	(温) めかぶそば
	24 日	誕 生 会	かにご飯、みそ汁、刺身盛合せ、炊合せ、黒ゴマプリン
3 月	3 目	ひな祭り	ちらし寿司、けんちん汁風煮、菜の花辛子和え、桃のフルーチェ
	8, 9 日	麺の日	(温) ラーメン
	24 日	春の彼岸	ぼたもち4種、豚汁風煮、ぜんまい煮、ヨーグルト
	31 目	誕 生 会	変わりご飯、清汁、刺身盛合わせ、茶碗蒸し、三五八漬け、桜餅風デザート

※毎月10日はカレーの日

※DSC は毎月1回麺の日実施

~ 総務課・事務人事課 ~

事業計画の達成と安定した運営を図るため、社会的動向や介護保険を取り巻く情勢の変化に 注視し、情報の収集と理事会・評議員会への報告・提案に努めた。

南陽やすらぎ荘の指定管理 2 年目にあたり、置賜広域行政事務組合と連携しながら運営協定に基づく健全な施設運営のサポートに努めた。新施設の建設については建設工程表に基づき順調に工事が進捗し、令和 4 年 3 月 22 日竣工式、26 日の引っ越しを経て運営を開始した。

法人経営改善計画に基づく「ショートステイの特養転換」については、山形県並びに南陽市の 許可を得て、令和3年5月から開始した。これまでショートステイをご利用いただいたご利用者 様並びにご家族様に対しては丁寧に説明し、ケアマネと協力しながらスムーズな移行に努めた。

人材確保と育成・定着については、今年度もコロナ禍により限られたなかでの活動ではあったが 「南陽市就職面接会」等に参加しこぶし荘の魅力発信を行いながら求人活動を実施した。

その結果、今年度は事務職2名、機能訓練指導員2名、介護職2名、看護師1名を新規採用し、採 用後はプリセプター制度による新人教育、育成を図った。

4月に施行された介護報酬改定については、内部において説明打ち合わせ会を開催し、制度変更や新規加算の概要、加算取得スケジュールについて関係職員に周知するとともに制度基準の遵守に努めた。今年度は9月から個別機能訓練加算の取得を開始し、サービスの質の向上を図った。更には科学的介護推進体制加算取得の準備をこの1年間かけて行った結果、次年度から算定できる見込みとなった。

(1) 監査等

項目	実施機関	実施日	主な内容
介護保険施設等集団指導	山形県	R3. 6	令和 3 年度の指導・監査、法 令遵守、基準報酬 等
短時間労働者・有期雇用労働者 の調査	山形労働局	R3. 8. 2	是正改善事項:ハラスメント 規定の整備
安全衛生委員会調査	労働基準監督署	R3. 9.29	結果:安全推進者を選任する こと、委員会メンバーを基準 にあわせ構成すること 等
生活保護法による指定介護機関 の個別指導	山形県	R4. 2.25	結果: 概ね適正
社会福祉法人一般指導監査	南陽市	R4. 3.16	結果: 概ね適正
監事監査(事業・会計監査)	監事	R3. 5.31	結果:概ね適正

(2)情報公開

項目	公開先	内 容
財務諸表等電子開示システム	ワムネット(W e b)	現況報告書、財務諸表 等
介護サービス情報公表	山形県(Web)	事業所の介護サービス情報全般
山形県医療機関情報ネットワーク システム	山形県(Web)	施設内診療所(医務室)と嘱託医情報
情報開示資料(閲覧)	法人事務所	事業計画、事業報告、決算書、監事意見書 等
法人ホームページ	We b	定款、事業計画、事業報告、決算書、現 況報告書、利用料金表、求人情報 等
法人広報誌(市内全戸回覧)	市民・関係機関	施設の状況、決算状況 等

(3) 諸規定整備

規定名	変更内容
定款	理事及び評議員定数の変更
給与規程	処遇改善手当、拘束手当支給額の変更 処遇改善支援手当の新設
安全衛生委員会規程	労働安全衛生法に基づき新設
就業規則	コロナによる子の世話をするための特休を規定化
新型コロナ 特別有給休暇及び短時 間勤務制度に関する細則	上記規定の細則を新設
臨時職員取扱規程	月給制嘱託職員の時間外手当計算方法の整理

(4) 人材育成・確保

研修名	開催日	会場	参加
南陽市就職面接会	R4. 2. 4	シェルターホール	施設長、佐藤事務員
看護職確保ワーキンググループ	R3. 11. 12	米沢市	施設長
福祉就職フェア	中止		

(5)表彰

機関名	人数
全国老人福祉施設協議会(勤続15年)	3名
全国老人福祉施設協議会(勤続20年)	2名
山形県社会福祉法人経営者協議会	5名

(6) 内部・内部研修

研修名	開催日	会場	参加
職場のハラスメント研修会	R3. 10. 7	伝国の杜	阿部事務員
会計基準実践的基礎講習	R4. 2. 28~3. 7	オンライン	阿部事務員
事務打ち合わせ会(内部)	R3. 9. 3、R4. 2. 2	会議室	総務課、人事課

~ 業 務 課 ~

- ① 令和3年度も業務員2名体制で建物、設備等の保守及び補修整備を行った。
- ② 経費削減のため、なるべく自前で補修作業を実施するとともに、南棟敷地も含め施設敷地内の環境整備作業を行った。
- ③ 経費削減のため、空調設備の温度管理や消耗物品等の在庫管理を徹底した。
- ④ 南棟の1年点検結果による手直し工事が令和2年度に引き続き今年度も新型コロナウイルスの影響により実施できなかった。
- ⑤ 今年度は大雪となりホイールローダや投雪型除雪機の使用により、有効な除雪作業に努めた。また、駐車場確保のため排雪作業を実施した。
- ⑥ 山形県の補助金交付により、多床室の個室化改修事業及び簡易陰圧装置設置事業を実施 し、すみれ・りんどう・やまぶき居室を個室化改修し、すみれ・りんどう居室に簡易陰 圧装置を設置した。
- ① 山形県介護ロボット導入支援事業費補助金の交付を受け、西棟エリアのWifi環境整備とバイタル監視型ベッドセンサー1台を整備した。今後3年間、実績報告を行う。

(1) 主な管理整備関係

	項目	内 容	備考
1	花壇整備	環境整備として植栽	いちょうの家
2	外周管理	DSC法面の調査、管理	
		芝生の除草、施肥、芝刈り等	シルバー人材センター
		法面草刈り、水路管理	
		南棟道路脇水路の沈殿物除去清掃	
		駐車場、避難道路の除雪、維持管理	
		小型ホイールローダ等除雪機械の	
		管理、大雪対応・排雪作業	
		案内看板の維持管理	
		老朽化により国道13号沿い看板	
		の撤去	
		駐車場一部砕石敷き整備	
		北山道路工事に伴う対応	
3	建物管理	月次内部定期点検による管理	
		各部修繕	
		南棟玄関周辺の屋根雪止め取付け	
		南棟加湿器用排水桝改修	
		施設長室の床材貼り替え	
4	温水発生器(ボイラー)及び給湯・	ばい煙測定、アスベスト調査の実施	平成 17 年度「車両競技
	温水配管類の保守管理	床下配管の定期点検	公益資金記念財団」助成
	^ //- /		事業
5	合併処理槽の保守管理	定期点検、定期清掃	既存棟・南棟
	びし # の / 1 ウ 放 + 四	法定・水質検査	
6	受水槽の保守管理	定期点検・清掃、法定・水質検査	既存棟・南棟
7	消防設備保守管理	誘導灯、発信機、誘導標識の更新	
		SP 用非常発電機負荷運転試験実施	
		SP 用非常発電機バッテリー交換	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
8	地下油槽保守管理	年1回の漏洩検査を実施	消防法

			I
9	空調・湿度管理	エアコンフィルター管理	
		加湿器の設置管理	弱酸性次亜塩素酸水
		空調設備の制御	の活用
		西棟マルチエアコンの大規模修理	
10	電気設備定期点検	毎月1回定期点検、年1回総合点検	
		デマンド管理	
11	業務用洗濯機、乾燥機、汚物除	乾燥設備主任作業者講習受講	1998 年度「国県補助事
	去機の保守管理	消耗部品の交換	業」
		高速洗濯脱水機インバーター交換	
		ガス乾燥機駆動モーター交換	
12	屋上保守管理	春と秋の清掃、管理	
13	水道関係保守管理	水道部品等消耗品の交換	
14	自動ドア保守管理	年2回の保守点検	
15	レジオネラ菌検査	入浴前の浴槽湯を採取(異常なし)	
16	荘内清掃	清掃員による週4日の清掃作業	
		床洗浄・ワックス作業	
		業務員による窓ガラス、浴室等の清	
		掃	
17	公用車の管理	「日本財団」リフトバス2台、	2003 及び 2006 年度「日
		「24時間テレビ」リフトバス、	本財団」福祉車両助成事
		「日自振」リフトバス、	業
		「競馬財団」スロープ付軽自動車	平成18年度「24時間TV」
		等公用車の積極的な活用及び管理	寄贈
		リフトバス操作講習(介護職員、事	平成 19 年度日本自転
		務室職員対象)	車振興会補助事業
			平成 25 年度中央競馬馬
		日本財団ハイエース:ミッション・	主社会福祉財団助成事
		ラジエータ等交換修理	業
18	機械浴槽の保守管理	特殊機械浴槽の保守管理	2001年度国県補助事業
		車いす入浴装置の保守管理	平成 17 年度郵政公社
		南棟入浴機器の給湯温度不具合に	年賀寄附金配分事業
		よる調査対応	
19	介護用品等の管理	車いす、電動ベッド等の補修	
20	業務課工具の購入整備		

(2) 防災に関する協定一覧

	名称	締結日	相手方
1	川樋地区 防災協定書	平成 18 年 12 月 30 日	川樋地区長(こぶし荘防災協力会会長)
2	置賜地区老人福祉施設長連絡協議 会 災害時施設相互応援協定	平成 20 年 7月 8日	置賜地区老人福祉施設長連絡協議会 会員施設長
3	災害時における福祉避難所の指定 及び使用に関する協定書	平成 28 年 2 月 15 日	南陽市長

9. こぶし荘ショートステイ

(1) サービス全般について

ショートステイ(短期入所生活介護)は、地域包括ケアの推進によりその重要性が高まるなか、生活相談員を窓口として多様なニーズへのケア(生活の質の更なる向上や心身の健康維持・活性化、介護者の介護負担軽減、突発的な事情への対応等)と各事業所、介護支援専門員をはじめとした専門職、ご家族との細やかな連携や調整に心がけた。

また、担当介護支援専門員主催のサービス担当者会議に出席した際には、最新のニーズ 把握のため情報共有、意見交換を積極的に行った。もう一方で、内部の職種間連携を大切 にしながら、リスク検証を行い安全・安心なご利用を目指した。今後もさらにサービスの 充実を図り、利用者・ご家族の笑顔が在宅介護の継続に繋がるよう努めていく。

※事業計画に基づき、令和3年5月1日付にて特養の入院者ベッドの有効利用と市内特養 待機者の解消に資するため、併設型8床を2床に変更。

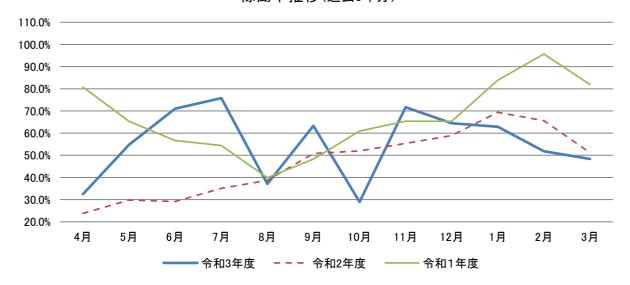
(2)利用状況

① 月 別

	4 月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月
利用延べ人数	78	34	44	47	23	38	18
稼働率	32.5%	54.8%	71.0%	75.8%	37.1%	63.3%	29.0%
	11月	12月	1月	2月	3月	合	計
利用延べ人数	43	40	39	29	30		463 人
稼働率	71.7%	64.5%	62.9%	51.8%	48.4%		55.2%

	延べ利用者数	月平均	平均稼働率	平均介護度
令和3年度	463 人	39 人	55.2%	3. 11
令和2年度	1,360 人	113 人	46.6%	2. 92
令和元年度	1,848 人	154 人	65.8%	2.81

稼働率推移(過去3年分)



今年度も地域の新型コロナウイルス感染状況を見極めながら受け入れには十分に配慮した。 特には、ご家族を含むご利用者の近況を確認しチェックシートを活用してリスク管理した。ご利 用中はショートステイ専用居室を設定し、入居者との距離を空けながら感染防止に努めた。10 月の利用者数減は、受入棟(南棟)の感染症対策として個室化工事に伴うものである。

② 要介護度別 実人数

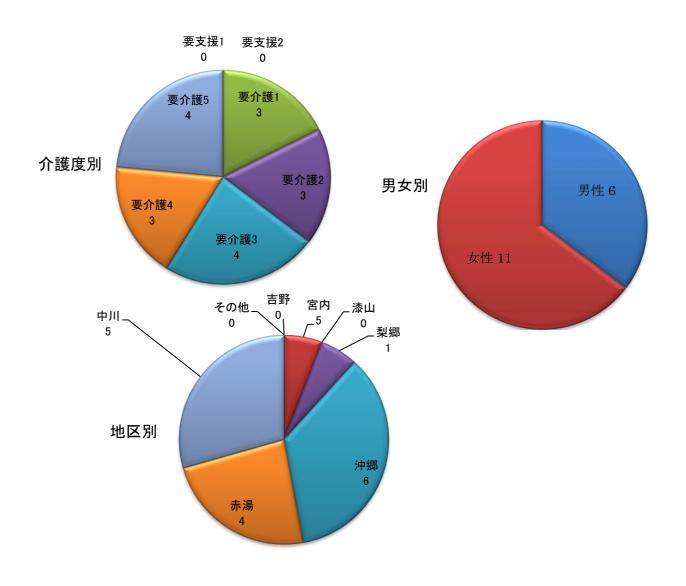
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護3	要介護 4	要介護 5	合計
0	0	3	3	4	3	4	17 人

③ 男女別 実人数

男性	女性	合計
6人	11 人	17 人

4 地区別 実人数

吉野	宮内	漆山	梨郷	沖郷	赤湯	中川	その他	合計
0	1	0	1	6	4	5	0	17



10. こぶし荘デイサービスセンター

(1) 総括

1.利用状況

地域密着型通所介護及び、総合事業の多様な利用形態に対応する為、営業日の調整及び 日課の見直しを図るとともに、人員配置減にる利用者サービスの低下をきたす事の無いよ う、各部署の協力を受け健全経営に努めた。

2.職員体制

職名	現員	備考	職名	職名 現員	
管 理 者	1	兼務	ケアワーカー	0	
事務員	1	兼務	看 護 師	1	兼務
栄 養 士	1	兼務	機能訓練指導員	1	兼務
業務員	1	兼務	兼務計	8	
生活相談員	2 (1)	常勤 (兼務)	専 任 計	4	
介護福祉士	4 (1)	常勤(兼務)	合 計	12	

3.職員研修

職場内研修会への積極的参加を図り、職員の資質の向上及び処遇技術の向上に努めた。また、防災安全に関しても重点をおき訓練等を実施した。

主な研修会等	参加	人数
◇ R03年度 県デイサービスセンター部会職員研修会	0	0
◇ 県老施協デイサービスセンター部会生活相談員研究会 (総会)	0	0
◇ 県老施協デイサービスセンター部会生活相談員研究会 (定例会)	0	0
◇ 置賜地区デイサービスセンター生活相談員研究会	0	0
◇ 居宅会議	0	0
◇ 運営推進会議	2	4
◇ 地域密着型介護施設集団指導	0	0

[※]感染症蔓延により、外部研修会の開催がありませんでした。

(2) 利用実績

① 実人員(性別、利用別)

介護度 要介護					総合事業					計	
月 受 及	1	2	3	4	5	通12	通21	通22	通31	通32	рΙ
男性	4	1	4	3	2	0	0	1	0	0	15
女性	28	1	8	0	2	0	1	6	0	0	46
計	32	2	12	3	4	1	0	7	0	0	61

② 地区別

地区	吉野	金山	宮内	中川	漆山	赤湯	梨郷	沖郷	施設	市外	その他
男性	1	0	0	10	0	1	0	0	3	0	0
女性	1	1	0	31	1	4	0	0	8	0	0
計	2	1	0	41	1	5	0	0	11	0	0

③ 入浴別

特別浴	介助浴	シャワー浴	入浴なし	その他
12	49	0	0	0

④ 利用状態別

利用中	休止中	入院中	入所	死亡	サービス移行	新規
4 2	1	1	7	5	5	19

令和3年度の地区別利用者割合(実人員)は地元が67%ほど、次いで施設が18%、赤湯となっている。

地域密着型として地元の利用者が増加している。

又、やすらぎ荘の指定管理者となり施設からの利用者が増加となっている。

令和3年度の介護度別利用者割合は要介護1及び要介護2で56%を占めている。

要介護 3 は全体の 2 0 パーセント。要介護 4 は5%であり、要介護 5 の割合も7%と少なくなっており、施設入所に伴う影響と考えられる。

利用状態別割合は、年間を通して75%程の方が継続してご利用されていたが。当年入所、ご逝去による利用終了は14%程度となっている。

※サービス移行(SS利用、小規模多機能)の方が増えている。

※感染症対策に伴う休業 (4月→2日:5月→2日)

⑤ 月 別

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
摚	業日	19	16	22	20	20	20	21
	要介護	189	173	234	238	234	222	258
	総合	42	44	57	57	59	52	50
	利用者計	231	216	291	295	293	274	308
禾	川 用 率	71. 5%	83. 7%	81.1%	91. 0%	90.4%	84.6%	90.5%
		11月	12月	1月	2月	3月	合	計
崖	業目	20	20	19	18	22		237 目
	要介護	232	230	218	218	270		2716 人
	総合	48	52	37	41	38		575 人
	利用者計	280	282	255	259	308		3291 人
承	* / / /	86.4%	97. 9%	93.2%	99. 9%	86.4%		88.1 %

[※] 要介護における,年間キャンセル率は、10.4% (予定件数3030名:キャンセル314名)

月別・年度別利用状況(過去3年分)



(3) 利用者日課と行事

時間	日禄C17争	業務内容	人員
08:00		出勤・送迎車点検・除雪(冬季) ミーティング、受け入れ準備	4 4
08:30	送迎バス出発	乗車介助・宅内介助	4
09:30	送迎バス到着	受け入れ・移動介助・連絡帳確認及び記 入・ミーティング	6
09:40	健康チェック	バイタルチェック	
10:00	茶話会 入浴 個別リハ、レクリエーション活動	4名体制+看護師 入浴介助(介助浴・特別浴) ・ 浴室清掃 ホール対応	(5) (4) (1)
1 1 : 3 0 1 2 : 0 0	入浴終了 昼 食	昼食準備・配膳 食事介助(昼当番)2名(他休憩) 口腔ケア・排泄介助・移動介助	5
13:00	休養	連絡帳、日誌類記入(昼当番休憩)	
13:50	送迎出発(総合事業送り)1台	次回予定説明・送迎介助	1
14:00	健康チェック	健康チェック・排泄介助・水分補給・ レク準備	② ②
14:20	個別リハ、レクリエーション活動	レク・リハビリ活動指導	3
14:50	送迎バス到着(総合事業送り) 手作りおやつ 茶和会・懇談	翌日利用者の確認・連絡・次回予定説明 相談等・記録(データ入力)・送迎準備	4
15:20	帰宅準備	連絡帳配布・排泄介助	4
15:40	送迎バス出発 (2~3台)	送迎介助	4
16:50	送迎バス到着	送迎バス到着・清掃 翌日利用者受け入れ準備 ミーティング、記録(データ入力)	4
17:00		退勤	4

	月別行	事	実 績
4月	・桜花見・季節のおやつ作り	10月	・秋祭り(縮小開催) ・災害避難訓練・ビデオ体操
5月	・体力測定・ゆったりティータイム	11月	・室内ゲーム
6月	・災害避難訓練・ゆったりティータイム	12月	・クリスマス会 ・季節のおやつ作り ・ゆったりティータイム
7月	・室内ゲーム	1月	・体力測定・室内ゲーム
8月	・ゆったりティータイム・体力測定	2月	・節分豆まき・ゆったりティータイム
9月	・体力測定	3月	・雛祭り会・お彼岸・室内ゲーム

(4) 運営推進会議

			N. 1.1
開催日	委員	職員	主な内容
5月18日	2名	3名	活動状況及び利用者の状況報告
11月19日	2名	3名	活動状況及び利用者の状況報告

(5) 非常災害対策

こぶし荘防火管理並びに消防防災計画に基づいて防災関係機関との連携を図り非常災害対策及び訓練を行った。

◇ 防火管理者 近野生活相談員 (DSC)

◇ 消防防災設備定期点検 9月13日 3月28日

◇ 消防防災設備立入検査 置賜広域行政事務組合消防本部 なし◇ 消防防災設備点検届出 置賜広域行政事務組合消防本部 9月分

◇ 夜間非常通報訓練 11月15日一斉メール、電話で実施

◇ 非常災害対策訓練 総合防災訓練2回

(第1回) 6月22日 通報、避難誘導、初期消火訓練、防災協力会総会

重点項目:消火器訓練、救急救命訓練、地震対応

(第2回) 11月15日

重点項目:図上訓練

(6) 施設管理、環境整備、その他

- ① プレハブ倉庫の管理~介護用品、季節用品などの整備、保管
- ② リフトバスの更新及び補修整備(車検整備1台・新規購入1台)
- ③ 床下ピット内排水作業、センター外周側溝清掃
- ④ 給湯用ボイラー、暖房用ボイラーの保守管理、修理
- ⑤ 浄化槽の保守管理(排水ポンプの管理)
- ⑥ ロータリー整備、植木、花壇の管理
- ⑦ 除雪機の整備及び保守管理、駐機場整備
- ⑧ 特浴槽、利用者用シャワートイレ、トイレ手洗い自動水洗の保守
- ⑨ 入浴用バスタオル、フェイスタオルをリース継続
- ⑩ センター玄関にサーマルカメラ設置(感染症対策)
- ① 感染症対策強化に努め各種備品の購入、消耗品の確保に努めた

11. こぶし荘在宅介護支援センター

(1)総括

介護保険における包括支援システムの構築に伴い、自立支援の観点に基づきながら、ご利用者の心身の状況、環境等に応じた適切な介護保険サービス等が総合的かつ効率的に提供されるよう総合相談窓口としての活動を行った。

今年度のサービス利用実績は、今年度はコロナウィルス感染流行が落ち着いてきたものの、 通年にわたり続いており、本人を取り巻くサービス事業所や、家族の感染などがあり、代替 えなどのサービス調整や、縮小などで、業務負担が増えていた 利用者の高齢化に伴い、死 亡や入所があり、新規相談、依頼者は昨年度より多かったが、サービスに結び付かないケー スも多く、総合すると件数は軽減した。

次年度も、コロナウィルス感染予防対策は継続していくと思われるので、昨年度の反省を踏まえながら、今の時代の流れに乗った方法で地域との連携を深め、介護保険・在宅介護相談の啓蒙を図り、在宅介護説明会・認知症サポート研修会を「研修・地域連携委員会」と共に開催を目指し、利用者確保に向け取り組んでいく。

(2) 利用実績

① 在宅支援事業

1) 業務別件数

項目	件数
1. 福祉用具展示	有り
2. 相談延べ人数	2,470 人
3. 訪問延べ人数	1,008人
4. 連絡調整	1.725件
5. 手続き代行	41 件
6. 通院送迎介助	0 件
7. 介護用品斡旋注文	0 件

2) 相談内容別件数(延べ)

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1. 介護相談	16	15	29	23	29	24	36	10	26	9	18	19	254
2. 健康相談	17	22	27	32	17	31	20	14	12	19	36	24	271
3. 医療相談	12	8	15	9	7	6	10	9	6	6	20	14	122
4. ホームヘルパー	13	15	21	18	7	9	11	21	17	12	29	20	193
5. デイサービス	51	49	65	53	46	67	53	61	60	53	71	71	700
6. ショートステイ	15	9	19	19	15	19	19	22	19	5	5	5	175
7. リハビリ	0	1	4	0	1	0	0	0	0	1	0	0	7
8. デイケア	1	3	7	3	2	6	5	4	5	7	4	6	53
9. 福祉介護用品	44	41	49	53	38	44	39	45	44	39	37	46	519

10. 住宅改修	0	0	1	1	0	0	0	5	0	2	0	0	9
11. 施設入所関係	1	1	2	0	0	0	0	3	0	0	4	3	14
12. 訪問入浴	3	6	8	8	5	5	4	3	3	3	3	6	54
13. 保健福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14. 訪問看護	7	6	9	11	6	81	6	8	7	7	7	9	91
15. その他	17	18	25	40	31	27	30	34	33	34	19	18	326
合 計	197	194	284	270	205	246	233	239	260	197	253	253	2822

② 居宅介護支援事業

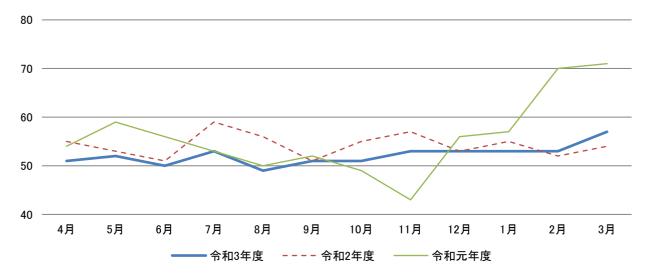
1) 居宅介護支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
認定調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給付管理	51	52	50	53	49	51	51	53	53	53	53	57	626
予防給付	14	14	13	11	11	10	15	13	13	13	13	13	153

2) 移動件数

<u> </u>													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1. 新規相談	3	4	3	1	2	0	2	1	6	4	5	4	35
2. 保険外相談	4	1	1	0	0	0	0	2	2	4	1	6	21
3. 入所	1	3	0	0	0	1	1	2	1	3	2	0	14
4. 入院	2	2	3	2	0	3	0	0	1	0	0	3	16
5. 死亡	0	1	2	1	0	0	2	1	0	0	1	3	8
ケアマネ依頼	1	4	2	1	2	1	0	1	4	4	4	3	27

月別・年度別稼働率状況(居宅介護支援費+予防委託)過去3年分



12. こぶし荘認知症高齢者グループホーム こぶしの家

(1)総括

地域密着型・認知症対応型の施設として利用者の尊厳、主体性、可能性を強く意識しながら、法人の理念にケアの実践を重ねる取り組みができた。本人また、家族の身体的・精神的安定を最優先に、説明と同意の重要性、協力と信頼関係づくりを柱に「もう一つの家」「もう一つの家族」をイメージしたユニットケアを心がけた。

その中でも、市オレンジカフェ連絡会は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり2回開催されたが、1回のみの出席となった。11月に県キャラバンメイト養成講座を受講し市キャラバンメイトの一員となったが、勤務上の都合で出席は出来なかったが、他部署の職員より毎回出席し行政や市内事業所との連携協働を図って頂いた。オレンジカフェについては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり開催することが出来なかった。また、入居者の外出機会と趣味活動、人となりを理解し得意分野を活かした取り組みと認知症介護研究・研修センターアセスメントシート(センター方式)の活用を継続して行っており利用者主体の生活に結びついている。健康管理は職員による一日3回の検温などの健康チェックまた、法人内や通院をはじめとする様々な医療連携、口腔衛生の重要性に基づく歯科医・歯科衛生士との連携・協働とケアの実践は継続して行っており利用者の健康管理に不可欠となっている。また、8回の救急対応や4人の入退所があり、身元引受人様との医療機関からの情報共有を図りながら利用者一人ひとりの生活の構築に結びつけることが出来た。

新型コロナウイルス感染症対策を重要視し感染の動向を見ながら、市民との様々な交流の機会を設けることや職員の認知症ケアに関するスキルアップを今後も継続して実践していきたい。

(2) 利用者の状況

① 月別・介護度別

	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月
	要介護1	0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	60	62	86	93	93	90	89
	要介護3	180	186	150	150	147	134	90
	要介護4	30	31	30	31	31	30	31
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0
	利用者計	270	279	266	274	271	254	210
	利用率	100%	100%	98.5%	98.2%	97.1%	94.1%	75.3%
7	入院・外泊	0	0	4	5	8	16	69
	区分	11月	12月	1月	2月	3 月	合	計
	区分 要介護 1	11 月 20	12月 31	1月 31	2月 28	3月 11	合	計 121人
							合	
	要介護1	20	31	31	28	11		121人
-	要介護 1 要介護 2	20 53	31 61	31 31	28 28	11 31		121人 777人
-	要介護 1 要介護 2 要介護 3	20 53 97	31 61 155	31 31 155	28 28 154	11 31 217		121人 777人 815人
-	要介護 1 要介護 2 要介護 3 要介護 4	20 53 97 30	31 61 155 31	31 31 155 31	28 28 154 28	11 31 217 0	1,	121人 777人 815人 334人
-	要介護 1 要介護 2 要介護 3 要介護 4 要介護 5	20 53 97 30	31 61 155 31	31 31 155 31 0	28 28 154 28 0	11 31 217 0	1,	121人 777人 815人 334人 0人

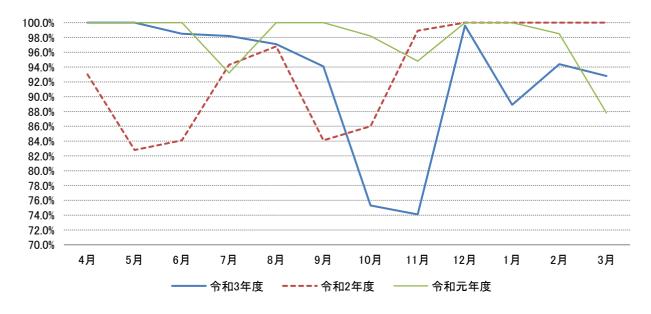
② 年齢別

区分	~60 歳台	70 歳台	80 歳台	90 歳台	100 歳以上	平均
男性	0	0	4	0	0	87.3
女 性	0	1	1	2	1	88.6
計	0	0	5	2	1	87.9

③ 入退所の状況

区分		退所		入所者	
上	死 亡	長期入院	その他	計	南陽市
男 性	0	0	1	1	1
女 性	0	2	1	3	3
計	0	2	2	4	4

月別・年度別稼働率状況(過去3年分)



(3) 利用者サービスと日課

利用者の生活は、様々なアセスメントの機会から把握した「人となり」に寄り添うことで繋がっていく。職員のこだわりは、「利用者のペース」と「どう暮らしたいか」の思いの察知にある。認知症ケアは尊厳のケアであることと、職員が意識化すべきことは利用者主体の理念であるとして1年間実践してきた。家族、地域、医療、行政等様々な機関との連携が、安心して地域で暮らせる力となっているという実感がある。地域行事への参加は、新型コロナウイルス感染症から出来なかったが、通院時のドライブや趣味活動、得意分野を活かした取り組みから利用者の笑顔を頂いている。今後も利用者主体の利用者に合わせた時間、行事やレク、季節感のある食事や外出の機会など楽しみを見つけられるサポート役を担っていきたい。

	一日の流れ(日課表)
6:00	起床、洗面、着衣交換
7:00	朝食準備、加湿器水補給(使用期間)、清掃
7:30	朝食、後片付け、健康管理チェック
9:00	清掃、洗濯物畳み(前日の午後~就寝前の物)、洗濯(起床~朝食時の物)
10:00	お茶、レクリエーション 等
10:30	入浴、昼食準備
11:00	昼食準備
12:00	昼食、後片付け、洗濯物畳み(起床~朝食時の物)、洗濯(午前中の物)
13:30	休 憩、トイレ清掃
14:30	レクリエーション、お茶、健康管理チェック、入浴 等
16:00	夕食準備、洗濯物畳み(午前中~昼食時の物)
17:00	夕食、後片付け、ゴミ収集、洗濯(午後~夕食時の物)
19:00	だんらん、トイレ清掃
19:30	就寝準備
20:00	就 寝

(4) 主な地域交流・家族交流

月 日	地域交流・家族交流
10月12日	こぶし荘秋祭り
11月 3日	中川地区文化祭(作品出店のみ)中川公民館

^{*}新型コロナウイルス感染拡大のため、地域行事には参加出来なかった。

(5) 運営推進会議

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準に基づいて2ヶ月に1回、計6回開催した。本人と家族の思い、市民の思いに寄り添うことを大切にし、当事者感覚でのケアの追求と運営を意識しながら実践することにより、更に質の高い介護を目指すことを目的とした。

開催日	出界	常者	主な内容				
刑准	外部委員	職員	土なり谷				
5月18日	3	3	入居者状況、2年度委員・細則、事業計画 他				
7月13日	3	3	入居者状況、家族交流・地域交流 防災訓練 他				
9月14日	書面決済	書面決済	入居者状況、敬老会・秋祭り開催について 他				
11月 9日	3	3	入居者状況、委員変更について 他				
1月18日	書面決済	書面決済	入居者状況、感染症対策、他				
3月 8日	書面決済	書面決済	入居者状況、感染症対策、ワクチン接種について				
			他				

※建物や設備、電化製品や機器の交換・修繕について、また職員の研修受講に関してや外部の会議・研修会等への派遣状況についても、毎回の議題の中に採り入れた。

また、新型コロナウイルス蔓延防止のため、3回書面決済にてご家族様代表、地区民生児童 委員様、南陽市役所福祉課担当者様に資料配布させて頂いた。

(6) 防災訓練

日常の防火防災に努めるとともに、災害時には特別養護老人ホームこぶし荘職員と一致 協力して災害に対応するよう訓練を行った。

6月22日 第1回総合防災訓練
 11月15日 第2回総合防災訓練(図上訓練)
 11月15日 非常通報訓練

(7)建物・設備管理

• 消防設備点検

・電気点検	4月19日	
・加湿器掃除、片付け	5月 6日~7日	
ホール用カーテン洗濯	5月12日.14日	
・居室のカーテン洗濯	6月 3日	
・センサーマット1台購入	6月18日	
・シャワーチェアー1台購入	6月18日	
・ベットテーブル1台購入	6月22日	
・トイレ便座の蓋取り換え2ヵ所	6月30日	
・エアコン修理	8月27日	
・スマートフォン購入	9月27日	
・玄関にチャイム設置	9月28日	
・全館ワックス清掃	10月19日	
・日誌のパソコン入力化	11月 1日	
センサーマット設置	1月 6日	
• 加湿空気清浄機設置	11月 4日	
洗濯機1台購入	3月 1日	
· 洗濯乾燥機 1 台修理	3月 4日	

3月28日、29日

※エアコンフィルター清掃、換気扇清掃は随時

13. 養護老人ホーム南陽やすらぎ荘

(1)総括

令和3年度は、2年度に引き続き、新型コロナウィルス感染防止に係る対策を講ずるため、 様々な業務及び物品購入がありました。

管理業務については、施設の老朽化に伴う維持修繕を中心に各種修繕と保守管理業務等 を実施するとともに、新施設建設に関する業務や引越し業務を実施しました。

また、処遇業務の内、入所者に関する各種行事等については、新型コロナウィルス感染防止のため、ほとんどの事業が縮小あるいは中止となりましたが、創意工夫をしながら入所者の処遇に努めました。

事業の概要及び入所者状況は以下のとおりです。

(2) 各種行事及び管理業務の状況

月	行事等の実施状況	修繕状況	保守点検状況
4	・親睦会総会 ・職員全体会議 ・荘内花見 ・屋外大掃除	•2F貯蔵給湯器修繕 •外灯自動点滅器交換	・厨房ガス給湯器保守点検・浄化槽切替工事
5	 ・防火扉開閉訓練 ・避難訓練 ・非常放送設備の機器操作訓練及び消火器操作訓練 ・防災委員会 ・映写会 ・花苗植栽 ・健康体操 ・新型コロナウィルスワクチン接種(1回目) 	・2Fトイレ詰まり除去作業	・厨房ガス給湯器保守点検 ・新設浄化槽保守点検 ・廃棄物収集運搬 ・電気設備点検
6	・観音様祭礼・健康診断・お楽しみ会・池清掃・健康体操・新型コロナウィルスワクチン接種(2回目)	・エアコン移設工事	・公用車定期点検 ・EV保守点検 ・浄化槽保守点検 ・消防用設備点検
7	・お楽しみ会・健康診断(入所者)・模擬喫茶・出前体験・健康体操	・ウォーターサーバー点検修繕・公用車代替え(セレナ→ノア)	・厨房内清掃及び害虫駆除作業・浄化槽保守点検及び清掃作業・電気設備点検・浄化槽水質調査・自家発電設備定期点検
8	・納涼会・お盆供養・お楽しみ会・健康体操	•水道管修繕工事	・浄化槽保守点検 ・EV保守点検

	I	T.	,
9	·敬老会 ·彼岸供養	・2Fトイレフラッシュ弁修繕	・荘内ガラス清掃 ・浄化槽保守点検 ・電気設備定期点検 ・産廃物収集運搬 ・EV定期点検
10	・芋煮会・夜間避難訓練・防災委員会・秋の屋外大掃除・模擬喫茶・不在者投票・健康体操・出前体験	・厨房シンク水漏れ修繕	・蓄熱電源投入作業 ・公用車1ヵ月点検(ノア) ・浄化槽保守点検
11	・出前体験・映写会・健康体操・インフルエンザ予防接種・施設長と語る会・菊祭り見学		 ・除雪機定期点検 ・浄化槽清掃 ・受水槽清掃及び水質調査 ・電気設備定期点検 ・浄化槽定期点検 ・ボイラー定期点検 ・浄化槽法定検査 ・産廃物収集運搬
12	・お楽しみ会・クリスマス飾り付け・荘内忘年会・輪投げ大会・健康体操・模擬喫茶・ゆず湯	・ボイラー給油ポンプ修繕工事	・浴槽清掃(業者) ・EV定期点検 ・浄化槽保守点検
1	・施設長年頭の挨拶 ・健康体操 ・ぼた餅提供 ・小正月団子木飾り ・せんべいと甘酒の提供 ・輪投げ大会 ・荘内新年会 ・果物の日		·電気設備定期点検 ·浄化槽保守点検 ·自家発電設備保守点検 ·消防設備、火災通報装置点検
2	・健康体操・輪投げ大会・腸内病原菌検査・出前体験・果物の日		・浄化槽保守点検・レジオネラ大腸菌検査業務・厨房微生物検査
3	・お楽しみ会・出前体験・模擬喫茶・彼岸供養・南陽やすらぎ荘本引越・新施設開所式	・公用車マーチ窓異音修繕・ウォーターサーバー移設工事	・浄化槽汚泥引き抜き ・浄化槽保守点検

(3)入所、退所の状況

月	月初日の 入所者数	入所件数	対処件数	備考
4	60			
5	60		1	死去
6	59		1	死去
7	58			
8	58		2	内1人は死去
9	56		1	
10	55			
11	55		2	
12	53	1		
1	54	2(1)	1	()は緊急入所
2	55	1	2	内1人は死去
3	54	1		
合計		5(1)	10	

(4) 文書の情報公開についての実施状況

なし

(5) 職員研修等状況

① 職場内研修

開催日	研 修 内 容	参加者数
R3. 8. 27 R. 3. 9. 1, 3	感染症マニュアル読み合わせ (講師:髙橋業務係長)	全職員
R4. 2. 25	養護老人ホーム職員研修会 事例検討会研修報告会 (講師:髙橋業務係長)	全職員

② 外部研修

開催日	研 修 内 容	出席者
R3. 5. 26	高齢者福祉種別新任職員研修	相談員
R3. 5. 28	コミュニケーション力向上研修	支援員
R3. 7. 13	施設内の感染症予防対策	看護師
R3. 10. 8	コロナ禍における笑いの効果	相談員
R3. 10. 14	応急手当講習会	支援員
R3. 11. 10	養護老人ホーム職員研修会①困難事例検討会	主任支援員
R3. 11. 26	社会福祉専門講座3(認知症)	相談員
R3. 12. 6	応急手当講習会	介護員
R3. 12. 7	社会福祉法人の給与計算実務	事務員
R3. 12. 16	改正育児・介護休業法説明会	事務員
R4. 2. 10	養護老人ホーム職員研修会②取組結果報告会	主任支援員

(6) 来年度の主な事業等

新施設建設が計画どおり令和4年2月に竣工し、3月に引越しを行い、令和4年度は、 新施設での運営が開始されます。

新施設は、4ユニット型で個室対応となっていることから、3年度中に職員及び勤務体制、 4ユニット型での処遇方針、各課の業務検討などを行い、入所者の処遇向上に努めることと いたします。

また、新施設は、光熱水費が現施設よりも相当増加することが予測されているため、節約に努めていきます。

★☆ 令和3年度事業報告書 ☆★

法人名: 社会福祉法人南陽恵和会 理事長 遠藤 東一朗

所在地: 山形県南陽市川樋508番地電 話: 0238(49)2800 FAX: 0238(49)2802 メール: kobushi@bz01.plala.or.jp

URL: http://kobushiso.jp/